

そうせいサポーターズより



静岡県 第三宗務所長  
駒形哲宗

静岡第三同志会は、本年創設40周年を迎え、6月11日に掛川市つま恋を会場に大勢の同志、檀信徒を集め大般若祈祷会を厳修し、善男善女の家内安全、更に世界平和を祈祷されました。

大勢の同志相寄る絶好の勝因、お互い胸襟を開いて宗門について語り合い、一仏両祖のみ教えを更に深め、研鑽された事に明るい将来を感じております。

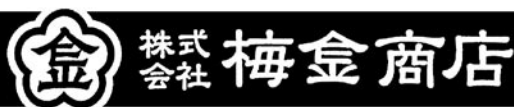
今、時代の流れはあまりにも急激で人々の求めも多様の昨今「迷った時は基本に帰れ」と言われているように、自未得度先度他の菩薩行に徹して若い力を熱く展開してほしいと期待しています。

泰盛寺 寺族  
正木須美枝

昨年10月より同志会の会員有志の方々と絡子作りを行い、その指導をさせていただきました。慣れない作業に戸惑いながらも、お釈迦さまやお祖師さま方への想いを馳せ、お袈裟のご縁に触れ、仏縁を深めながら1針1針縫い上げていました。今後も様々な活動を通じて檀信徒の皆様模範となるよう、ますます修行を積んで戴きたく思いますし、そのお手伝い出来る限りさせていただきますと思います。

両大本山御用達  
梅花流法具販売指定店

法衣・装束・荘厳・神仏具・贈答用記念品



(全国曹洞宗法衣同業会会員)

(本 社) 〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39番33号  
(大須交差点東北側)  
TEL (052) 241-0901(代表) FAX (052) 241-1904

静岡第三同志会  
のココが  
すばらしい!

当会には他曹青のような年齢制限がありません。修行を終え師寮寺に戻ってきた青年僧侶から会の発足に関わり、40年の同志会の諸行事、諸活動に精通した老師まで非常に幅広い年齢で構成されています。サマースクール、スキースクールといった年間行事は、盆彼岸などの寺院の繁多時に子弟をお預かりして、様々な体験を通じて心を養うといった理念で始まった行事と伝聞しています。会員の多くは幼少の時からそのような行事に参加することによって偈文やお経などに親しみ、青年になると今度は指導する側に回ります。『三つ子

静岡第三同志会  
のココが  
課題だ

の魂百まで』ではありませんが、「〇〇は子供の頃はいたずらで」といった話を耳にします。幼い頃から若いお坊さん同志会といった環境で育ってきていますので、活動に理解を頂いている御寺院様方が多いので、チャリティーバザーなど時の品物の供出などにも会員外の御寺院様方にもご協力いただいております。

40年という歴史の中には時代の流れなどにより取り止めや変更となった行事が多数あります。現在の主な活動はこれからの時

代を担う子供たちと共に研鑽を積み、布教や修行する事です。

1泊や2泊で行なっていた子弟参加行事も子供の減少や、学校の夏休みの変化などにより日帰りなどに変更をした行事などもありますが、泊まりでないと体験できない事柄もあるので、復活させる方法は無いものかと考えています。

また、同志会の年齢制限が無いという事は、退会が無いという事になります。ある一定の年齢になると会の役職から外れると会との関わりが薄くなるように感じます。また、子弟教育に重きを置いた行事運営ですので、様々な年代の方々に参加、交流していただくような魅力的な研修を企画、運営していきたいと考えます。



静岡第三同志会会長  
高橋浩道

禅文化学林のお礼◎会長の挨拶文

静岡第三同志会は昭和45年に創設し、本年6月で40周年を迎えました。静岡第三同志会創設40周年記念大会に際し、全国曹洞宗青年会禅文化学林を招致して『光明輝きを求めて』を、6月11日に開催いたしました。全国より370名余の参加をいただき無事に円成出来ました事は御法愛の賜と、厚くお礼申し上げます。今般の大会はささやかな通過点ではありますが、皆様に支えられてこの節目を迎えることが出来た大きな喜びを心に刻み今後更にも精進していく所存であります。